

IGAS2022



11月24日～28日の5日間、東京ビッグサイトにおいて、IGAS2022（国際総合印刷テクノロジー&ソリューション展）が開催されました。4年ぶりの開催となる今回は「Venture into the innovation! —新たなイノベーションへの挑戦—」のテーマで、様々なイベントやそのライブ配信などが、企画されていました。

「品質向上」「コスト削減」「生産性向上」などの従来からの課題に加え、新型コロナ感染症の感染拡大以降、ライフスタイルや働き方の変化、それに伴うデジタル化の加速、さらには環境保護志向の高まりなど、私たちを取り巻く社会は大きく変わってきています。そうした様々な課題への取り組みとして、今回のIGASで数多く提案されていたのが、DX（デジタルトランスフォーメーション：デジタル技術による変革）による「スマートファクトリー」です。

印刷機を中心に後加工の機械などのハードに加えて、それらを連携し、マネージメントするソフトや、印刷データを制御するソフトなど、印刷関連の様々なソフトウェアが展示されていました。

今回、見学に行かれた方も多いかと思います。何か課題解決につながるヒントはあったでしょうか？ぜひ今後活かして行って下さい。



冬の感染症

今年の冬は新型コロナウイルス感染症が夏以上に拡大して、季節性インフルエンザと同時流行する可能性があり、より多数の発熱患者が同時に発生することで、医療逼迫の恐れがあることが懸念されています。

インフルエンザは過去2年間、日本国内での流行がなかったために、社会全体のインフルエンザに対する集団免疫が低下していると考えられています。そのため、一旦感染がおこると、特に小児を中心に社会全体として大きな流行となる恐れがあります。

厚生労働省では、発熱外来等にかかりづらくなる場合に備え、一人ひとりの重症化リスクに応じた事前の準備（ワクチン接種・新型コロナ抗原定性検査キットや解熱鎮痛薬の早めの購入など）を呼びかけています。

また、冬はノロウイルスなどの感染性胃腸炎も流行しやすい季節です。種類が違ってても基本的な予防対策は同じです。あらためて感染症予防対策について確認し、感染症予防に努めましょう。



JS環境委員会短信

今年度のEMS本審査の日程が決まりました。
2023年2月3日（金）島田プロダクションセンター
2023年2月7日（火）本社・Kスタジオ・倉庫
ご協力をお願いします。

本社 環境委員会メンバー
委員長：下鳥治
委員：小井土昌弘 河野純一 庄司亜佐子
曲師里奈 森智史

